

「日本文化発信と交流およびドイツ文化を学修する EU 文化研修」

ドイツ・ハンブルク海外研修プログラム

【テーマと目標】

異なる言語文化において日本文化を発信するという異文化間コミュニケーションがテーマである。日本文化に関する報告を、ハンブルク大学の学生を対象にドイツ語で発信するという体験を通して、身近な文化を異文化視点で捉えなおすとともに、ハンブルク大学の学生とのディスカッション等により、新たな視点での気づきを得ることを目標とする。

協定校のハンブルク大学アジアアフリカ研究所(日本学)の教職員とその施設使用の協力を得て、神戸大学生とハンブルク大学生との合同ゼミを行い、交流を図るとともに、ドイツ第二の都市ハンブルクの様々な文化施設の見学を実施する。

【日程】

募集 平成 28 年 10 月 13 日～平成 28 年 10 月 31 日

選考 11 月上旬(申込者多数の場合は面接を実施する)

- 研修期間 2017 年 2 月下旬(現地集合、現地解散)
- 研修場所 ハンブルク市内
- 研修内容
 - ・協定校学生との合同セミナー
 - 「日欧文化交流」をテーマとした研究発表とディスカッション
 - ・ハンブルクでの文化施設の見学
 - ・各自の研究テーマに沿った現地視察、調査
- 募集対象 国際文化学部・研究科の学生(3 月末卒業・修了予定の学生を除く)
- 募集人数 5 名程度

- 本プログラムは学部・研究科の授業の一環として行い、修了者には 1 単位が付与されます。成績等の条件を満たす場合、奨学金 8 万円または 5 万円(計 5 名)が支給されます。

問い合わせ先：藤濤文子 (fumiko@kobe-u.ac.jp)

【事前学修】

・期間：12月～2月

・学習内容：

- (1) ハンブルクについて調べる
- (2) 口頭発表（ドイツ語 10分程度）について準備を進める
12月に各自の発表テーマを決定
⇒1月中旬に日本語レジュメを作成（ハンブルク大学に送る）
⇒2月初旬までにドイツ語による口頭発表準備・予行演習
- (3) 危機管理サービス(OSSMA)説明会参加

【現地学修】

期間：8日間

2月中旬 現地へ出発（航空券の手配・宿の手配は各自で）

2月19日（日）文化施設見学

2月20日（月）最終打ち合わせ

2月21日（火）合同ゼミ当日

2月22日（水）文化施設見学（Neuengamme 強制収容所など）
各自のフィールドワーク

2月下旬 帰国

【事後学修】

帰国後、報告書を提出する

全員帰国後に報告会を実施する